

東北地域の課題を発見し、そこから新事業を構想し、
推進できる人材を育てる実践講座

次世代みちのく地域イノベーター養成プログラム ～SHU・HA・RI～

募集要項

開講日程

2022年10月1日（土）～2023年1月28日（土）
10:30～17:50
（土曜・月2回ペース）

会場

事業構想大学院大学 仙台校
（オンライン同時中継）

応募締切

第1回：8月31日（金）
第2回：9月 9日（金）
第3回：9月23日（金）

受講料無料



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

[1] 今東北で求められている地域イノベーター人材とは？

東北地域の課題を発見し、そこから新事業を自ら構想し、推進できる人材が必要

コロナ禍の継続やウクライナ問題など、世界はこれまでの延長線上では判断できない予測不能な時代—VUCAの時代に突入しています。他方、日本企業は、人口減少や長期間にわたる経済の低成長・低迷、地方部の明らかな衰退などが進展しており、新たな事業モデルの構築が急務な状況となっております。また、多くの企業は、SDGsを経営戦略の中心に据えており、ESG投資の流れも相まり地域課題の発見とその解決方法の提示は、新たな収益の種として重要視されてきています。

このような環境の中で、東日本大震災を経験した東北地域は、様々な日本の社会課題について、先進的に顕在化しつつある地域であり、また震災から11年経ち、様々な支援により表面的には復興しているように見えるものの、まだ解決されていない課題が集積されている状況です。

一方で、東北地域には、震災後、特に高速道路網が整備され首都圏との連結が飛躍的に高まり持続可能な交通ネットワークが構築されつつあること、首都圏等に比べて地価や物価が安く、使用されていないテナントやスペース等の活用が容易であり新しいことにチャレンジする環境があること などといった強みがあります。

本プログラムでは、仙台校を拠点に、地域の課題を発見し、そこから新事業を構想し、推進できる地域イノベーター人材を養成します。

地域における新事業開発においては、

- ①地域が保有する資源を正確に分析する力
- ②様々な切り口から地域を観察し、その課題を発見する能力・発想力
- ③発見した課題をビジネスに昇華させる事業構想力
- ④地域の中に入り、的確なリーダーシップをとり、プロジェクトを推進していくコミュニケーション力

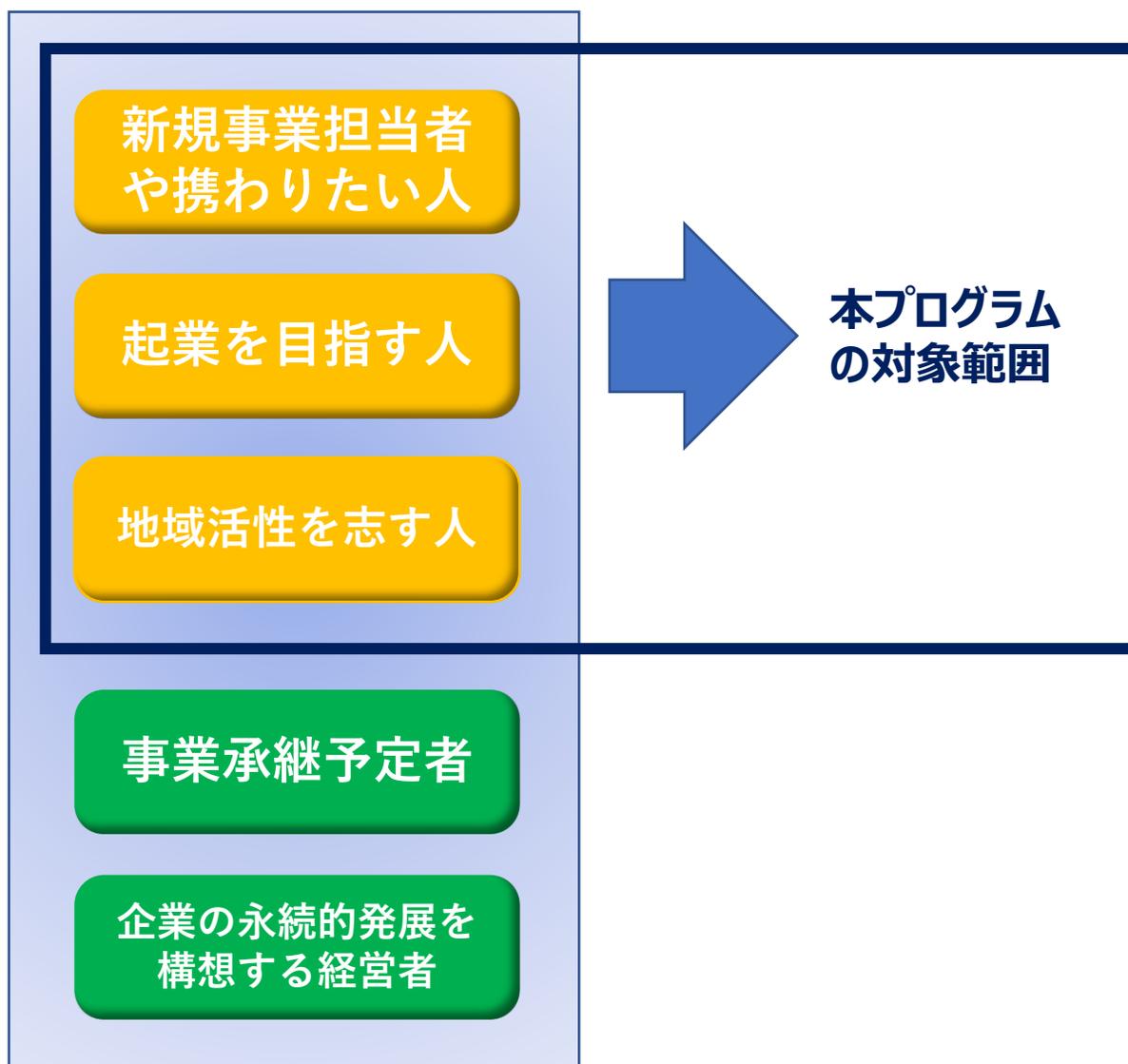
などが求められますが、その基礎力を本プログラムで身に付けます。

本プログラムで基礎的能力を身に付けて、自身のキャリアに資するとともに、本学の修士課程への進学の道も視野に置いた「事業構想プレ講座」ともいえるプログラムです。

[2] 本学が育成する人材と本プログラムの対象

本学は2012年の開学以来、主に下記の人材を育成しています。
本プログラムでは、上記の人材群のなかでも特に、
「新規事業担当者や携わりたい」、「起業を目指す」若手人材を主な対象とします。

本学が育成する人材



今回のプログラムでは、通常2年間の修士課程のプログラムのエッセンスのみを扱います。したがって、より事業構想を探求したい方は、修士課程に進学することをお勧めします。

[3] 事業構想に欠かせない要素



事業構想は、スキルではなく、クリエイティブ。

スキルとは、一定の手順を踏めば一定の成果がでるものです。新たな事業をあるメソッドで実行すれば、必ず成功するというものでは決してありません。ある程度確率を高めることはできますが、それよりもアイデアが重要です。

本学は、授業を受ければ、何かできるようになるであろう、昇進や転職に有利になるであろう、という受け身の動機の方には向いていません。単に受け身で授業を聞いているのではなく、常に能動的、積極的にものごとを吸収して、アイデアを考えていく姿勢でなければ、事業構想は実現できません。

本気になれる、つまり、何かやってみたい、それが漠然としていても結構です。事業構想には、自分がやらなければいけないという使命感が重要です。

[4] カリキュラム概要 (その1)

本カリキュラムは、**SHU・HA・RI (守破離)** の3段階でプログラムが構成されています。

SHU (守) 知識の習得	教えを忠実に学び、その後の土台となる「基礎・基本」を固める。 ■ 授業： アイデア発想法、地域イノベーション、コミュニケーションデザイン etc.
HA (破) 革新性の習得	基本を守りつつも応用・改善し「オリジナル」を加えていく。 ■ 授業： ビジネスモデル、DXと事業構想、地域連携スピーチ etc.
RI (離) 創造性の習得	これまでの常識等に一切とらわれず「新しいもの」を生み出す。 ■ 授業： 事業構想アイデア演習 etc.

これらのプログラムを通して、地域課題を解決できる**次世代のみちのく地域イノベーター**を養成します。

また、本学が提供する**事業構想のサイクル**を体験することにより、東北地域への関与をより高め、移住支援や起業・新事業・就業を促すことで**地方創生にもつなげていくカリキュラム**です。

[4] カリキュラム概要 (その2)

日程：2022年10月1日（土）～2023年1月28日（土） 10:30～17:50

会場：事業構想大学院大学仙台校（オンライン同時中継）

回		月日	曜日	1限： 10時30分～12時	2限： 13時～14時30分	3限： 14時40分～16時10分	4限： 16時20分～17時50分	
1	SHU (守)	10月 1日	土	開講式：10時～10時30分 事業構想概論：10時30分～	事業構想概論	ガイダンス オリエンテーション		
2		10月 8日	土	グローバルと事業構想	地域連携スピーチ	アイデア発想法	地域イノベーション	
3	HA (破)	10月 22日	土	DXと事業構想	地域活性と事業構想	リスクコミュニケーション	コミュニケーション デザイン	
4		10月 29日	土	アーティスト思考	事業計画策定演習	【メタ】 地域課題解決アイデア演習③ 【福島県：南相馬市】		
5		11月 12日	土	事業構想のための戦略	実践的収益構造の構築	【メタ】 地域課題解決アイデア演習④ 【福島県：南相馬市】		
6	RI (離)	11月 19日	土	フィールドワーク①【宮城県：登米市】 ※特定地区で地域課題のヒアリングと解決案検討				
7		11月 26日	土	フィールドワーク②【宮城県：利府町】 ※特定地区で地域課題のヒアリングと解決案検討				
8		12月 3日	土	事業構想アイデア演習Ⅰ①【山形県：新庄市】	事業構想アイデア演習Ⅰ②【山形県：新庄市】			
9		12月 10日	土	事業構想アイデア演習Ⅱ①【宮城県：仙台市】	事業構想アイデア演習Ⅱ②【宮城県：仙台市】			
10		12月 17日	土	事業構想アイデア演習Ⅲ①【秋田県：にかほ市】	事業構想アイデア演習Ⅲ②【秋田県：にかほ市】			
11		1月 7日	土	事業構想アイデア演習Ⅳ①【青森県：弘前市】	事業構想アイデア演習Ⅳ②【青森県：弘前市】			
12		1月 21日	土	事業構想アイデア演習Ⅴ①【岩手県：花巻市】	事業構想アイデア演習Ⅴ②【岩手県：花巻市】			
13		1月 28日	土	成果発表会 ※グループで特定の地域又は地域横断的な課題を掲示し解決案を発表				閉講式

※【メタ】Meta Quest2を用いたメタバース空間での実施を想定しています。

※敬称略。内容やスケジュールは、変更になる場合があります。

[5] 担当教員 (その1)

事業構想大学院大学の精鋭教員陣が本プログラムを担当します。(敬称略)



谷野 豊 (たにの ゆたか)
研究科長・教授
(株)分子生理化学研究所 取締役

東京大学大学院工学系研究科修了。博士(工学)。東京工科大学バイオニクス学部助教を経て、(株)分子生理化学研究所に入社。製品開発・学術部の責任者として、最新のサプリメントやアンチエイジング情報を発信しつつ、2016年より事業構想大学院大学の准教授、2017年より現職。日々、医療分野の新規事業開発に取り組んでいる。



河合 孝尚 (かわい たかひさ)
教授

静岡大学大学院理工学研究科博士課程修了。情報学博士。2022年4月より事業構想大学院大学教授。これまでに大学におけるリスクマネジメントやコンプライアンス、研究公正等に関するアドバイスを多数行ってきた。また研究課題として、教育システムの開発やリスクマネジメント手法に関する研究を行っており、「情報伝達による個人又は集団に与える影響について」を基盤に様々なテーマの研究を試みている。経済産業省安全保障貿易自主管理促進アドバイザーや他大学の講師等を兼任。研究分野は、教育工学、教育方法論、研究公正、リスクマネジメント、経済行動学など。



青山 忠靖 (あおやま ただやす)
特任教授
公益社団法人兵庫県育才会理事長
(株)ジェムコ日本経営パートナーコンサルタント

地域デザインによる地域創成事業支援を専門とする。
1978年3月 日本大学芸術学部放送学科卒業、同年4月 株式会社博報堂に入社し17年間勤務。
1995年に博報堂の協働機関を起業、セールスポモーション、PR制作、雑誌編集/執筆等に携わる。
2006年以降、外資・国内コンサルティング企業3社を経て、2016年より現職。
2012年には一般社団法人地域デザイン学会の立ち上げに参画する。

LEC東京リーガルマインド大学 キャリア開発学部 非常勤講師「メディア社会論」(2004年～2007年)
専修大学商学部 地域デザイン学会寄附講座「地域と食文化」を担当(2016年)

2013年以降、父祖縁の地である兵庫県出身の大学生を支援するために、東京代々木で学生寮「尚志館」の経営にも従事している。
2019年以降、社会構想大学院大学にて、実務家教員養成課程で「実務家教員へのキャリアパス」講座を担当している。

【5】担当教員（その2）



佐藤 秀之（さとう ひでゆき）

客員教授

仙台トヨペット株式会社 代表取締役社長

1984年 三井物産株式会社入社

1986～87年 レニングラード大学ロシア語学科

2002年 三井物産株式会社 経営企画部次長

2007年 同社 自動車総合戦略室長

2010年 スイスIMD BPSE（Breakthrough Program for Senior Executives）

2009～2013年 三井物産株式会社 第三自動車部長、自動車・建機業務部長

2013年 同社 東北支社長

2016年 仙台トヨペット株式会社 代表取締役社長



高橋 宏彰（たかはし ひろあき）

客員准教授

東北外語観光専門学校 非常勤講師

東北大学大学院経済学研究科 博士課程後期満期退学。信金中央金庫に23年間勤務、有価証券投資、海外駐在（中国、ソロモン諸島/青年海外協力隊）、調査・研究業務等に従事。2012年より仙台在住、国際協力機構（JICA）東北支部、会計事務所勤務を経て現職。石巻市出身



山田 哲也（やまだ てつや）

助教

合同会社プロジェクトノードCEO

1987年京都生まれ。2011年東北大学工学部建築・社会環境工学科卒業。

2013年東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻修了。工学修士。

2013年より東北大学せんだいスクール・オブ・デザイン研究員、

2015年より東北大学大学院医学系研究科助手（国立大学医学部初の広報専任教員）。

2017年、デザインリサーチファームである合同会社プロジェクトノードを起業。現在同社CEO。

建築情報学会、イノベーション教育学会

[5] 担当教員 (その3)



高谷 将宏 (たかや まさひろ)
客員准教授
株式会社エヌエスシー 常務取締役

博士(教育情報学)。尚絅学院大学客員准教授、東北大学大学院情報科学研究科非常勤講師。高等学校教諭、日本私学教育研究所委託研究員を経て、仙台拠点のSIer株式会社エヌエスシーにて常務取締役。大学や専修学校の外部評価委員、教育課程編成委員などを務める。デジタル人材育成学会理事。数理・情報系を専門としない人材へのリテラシーレベルでのアプローチを得意とする。東北大学大学院修了。仙台市出身。所属学会 デジタル人材育成学会 日本情報教育学会【専門】データサイエンス、質的研究、AIリテラシー、授業評価、数学教育



松永エリック・匡史 (まつなが えりつ まさのぶ)
特任教授
青山学院大学 地球社会共生学部 教授
ONE NATION Digital&Media(株) 代表取締役CEO

1967年東京生まれ。青山学院大学国際政治経済学研究科修士課程修了。幼少期を南米(ドミニカ共和国)で過ごし、15歳からプロミュージシャンとして活動、バークリー音楽院(ボストン)でJazzを学ぶ。その後、ビジネスコンサルタントとして、アクセンチュア、野村総合研究所、日本IBMを経て、デロイトトーマツ コンサルティング メディアセクターAPAC統括パートナー・執行役員、PwCデジタルサービス日本統括パートナーを経て現職。



渡邊 信彦 (わたなべ のぶひこ)
教授
(株)Psychic VR Lab取締役 COO

大手SIerにて金融機関のデジタル戦略を担当、2006年執行役員、2011年オープンイノベーション研究所所長を歴任。その後、起業イグジットを経て、Psychic VR Labの設立に参画。2017年2月取締役 COO。2015年度より事業構想大学院大学の教員を務めるほか、各地の地域創生プロジェクトにも参画。事業構想研究所：各プロジェクト研究担当

[5] 担当教員 (その4)



下平 拓哉 (しもだいら たくや) 教授

防衛大学校卒業、アメリカ国防総省アジア太平洋安全保障研究センター・エグゼクティブコース修了、国土館大学大学院博士課程修了（政治学博士）。専門は、戦略、危機管理、リーダーシップ。防衛の「現場」と安全保障の「学術」の融合を信念に、30年以上に亘る防衛の最前線における勤務。日本人初のアメリカ海軍大学客員教授として教鞭を執ったとともに、防衛省防衛研究所主任研究官として政策シミュレーションに関与した経験を有する。元海将補、日本危機管理学会常任理事、江戸川大学非常勤講師、国土館大学政治研究所特別研究員、日本戦略研究フォーラム特別研究員。



小野寺 孝晃 (おのでら たかあき) 特任教授 一般社団法人TATAKIAGE Japan 代表理事 事業構想修士

大学卒業後、都内IT企業にて、技術、営業、サービス企画、戦略セクションでキャリアを積み、2013年、東京2期生として事業構想大学院大学に入学。卒業論文「福島県浜通り地区の地域経済活性化」を書きあげ、実践するために、2015年、地元福島県いわき市にUターン。「人と地域を育てる」をミッションに掲げる活動支援団体を運営し、さまざまな支援メニューの開発とコンサルテーションを実施。現在も、いわき市の地域活性のために、民間・行政・大学と連携して事業構想を展開中。



大武 みなみ (おおたけ みなみ) 特任教授 (株)ジェイアール東日本企画 デジタル本部 jeki-X 次長 事業構想修士

(株)ジェイアール東日本企画入社と同時にJR東日本の広報部に6年間出向し、広報・宣伝業務を担当。出向復帰後はJR東日本だけでなく、多分野に亘るクライアントの営業職や秘書室長などに携わる。2011年度より東日本大震災の復興に向けた観光・地域活性におけるコミュニケーション業務に従事する中、事業構想大学院大学に入学（東京校2期生）。修了後に経営企画局に異動し、「エリア価値向上プロジェクト」立上げメンバーとなり、事業構想計画書のテーマでもあるエリアマネジメントに関わる業務を中心に活動。現在は、新規事業開発などを推進する新組織 jeki-X に所属。東京都出身。学習院大学法学部卒業。

【5】担当教員 (その5)

八代 華代子(やしろ かよこ)

客員准教授

AMKコミュニケーション 代表

東京理科大学オープンカレッジ 非常勤講師



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 前期博士課程修了
システムデザイン・マネジメント学修士（専門：コミュニケーションデザイン）
青山学院大学文学部（社会心理学専攻）卒業後、北海道放送（HBC）アナウンサーとして、
テレビとラジオの番組を担当。
その後、ニューヨークで24時間日本語放送をしているNHKコスモメディアアメリカ（現在）が運営するTV-JAPANと契約。
編成部で、キャスター兼レポーターとして、北米とハワイなどに向けてニューヨーク発の食や文化・芸術などを伝えた。
帰国後、「AMK（Advanced Method & Knowledge）コミュニケーション」を立ち上げ、日米融合型の手法を取り入れたプレゼンテーショントレーナーとして教育機関・個人・企業向けに研修を行っている。

【6】主なゲスト講師 (順不同)

齋藤由里子

公益財団法人味の素ファンデーション(TAF)

1994年味の素(株)入社、2018年より財団へ出向。
東北の復興応援事業として参加型料理教室「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」を推進、地域主体の活動の後方支援を行う。
その傍ら、食と栄養の急性期の問題解決や防災にも取り組むべく、2019年、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）・国際災害栄養研究室・日本栄養士会JDA-DATと共に多職種・多組織連携プラットフォーム「食べる支援プロジェクト(たべぶろ)」を立ち上げ、世話役を務める。



[7] 開講概要

開講期間

2022年10月1日（土）～2023年1月28日（土）
各回の受講時間 10:30～17:50

リアル受講（校舎）

事業構想大学院大学 仙台校
〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1
JR仙台イーストゲートビル7階
JR「仙台駅」東口直結

オンライン受講（双方向同時中継）

仙台校からMicrosoft TEAMSで同時中継します。自宅等で受講可能です。
（カメラをONにできる環境にて受講していただきます）

※教室、オンラインのハイブリッド形式のため全国より参加可能ですが、双方向によるディスカッション、グループワーク等も多く実施しますので、できれば1回は福岡校でリアル受講して、受講生同士で直接コミュニケーションをとる機会つくっていただくことをお勧めします（交通費は自己負担）。

主な受講対象

- 東北地域へのUターン・Iターンを希望する方、検討している方
 - 東北地域での起業に意欲のある方 など
- ※原則として、社会人経験のある方を対象としております。

受講料

無料

受講料は無料ですが、それ以外の費用は基本的には自己負担となります。

- ※校舎までの交通費、フィールドワーク時の交通費、諸経費、調査研究のために必要な図書費等、資料費等、オンラインで参加されるのWifi通信費用等は各自の負担となります。
- ※課題の作成等のため、受講時はノートPCをご持参いただくことをお勧めします。

定員

30名（参加にあたっては選考があります）

[8] 応募方法・応募締切

応募資格

下記、すべてを満たす方が応募できます。

- ①本学（仙台校）への通学または自宅でのオンラインで出席可能な方
 - ②本プログラム受講をきっかけに就職、転職または現在の仕事でのスキルアップなどを目指す方（自身の趣味、教養のみを目的としての受講はできません）
 - ③基本的なPCスキル（ワード、エクセル、メールが使える）をお持ちの方
- ※最終学歴、就業状態（求職中、フリーター等）、年齢は問いません。
※学生は応募できません（就職浪人、第二新卒の方は応募可能）

応募手順

STEP①

エントリーフォームへの入力

下記エントリーフォームに必要事項を入力して登録してください。

URL: <https://michinoku.mpd.ac.jp/2022/>



STEP②

メール送付（写真と動画）

①顔写真

本人の顔写真データをお送りください（スマートフォンで撮影したもので可）

※受講生証に使用します。

②個人調書

③志望書

メール送付先：recurrent@mpd.ac.jp（事業構想大学院大学 リカレント教育事務局）

メール件名：「みちのく地域イノベーター養成プログラム応募（〇〇〇〇（お名前）」

※写真、動画のファイル名にはお名前をいれてください。

※応募完了者には受付完了メールをお送りします。

応募締切

第1回：2022年8月31日（金）

第2回：2022年9月9日（金）

第3回：2022年9月23日（金）

※各回で応募選考を行い、内定します。

※合格／不合格の結果は締切後、約1週間以内にメールでお知らせします。

※応募内容の確認のため連絡を差し上げたり、追加でオンライン面接を実施する場合があります。

※第1回目、2回目で不採用の方は次回に応募可能です。

[9] 説明会

本プログラムの目的やカリキュラム内容などを、オンラインで説明します。
また、その場で質問することもできます。お気軽にご参加ください。

オンライン説明会

第1回：2022年8月30日（火） 18：00-19：00

第2回：2022年9月7日（水） 15：00-16：00

第3回：2022年9月7日（水） 18：00-19：00

第4回：2022年9月15日（木） 15：00-16：00

第5回：2022年9月15日（木） 18：00-19：00

※上記以外でも、説明会内容を収録した動画をご覧ください。

※説明会参加は、応募要件ではありません。参加しなくても応募できます。



[12] よくある質問 (FAQ) その1

Q. 応募の年齢制限はありますか。

A. 明確な年齢の上限は設定しておりませんが、本プログラムは、個人での学費負担が比較的困難な若年層への教育機会を設けることも重要な目的と考えております。自らの費用での就学可能な方、または会社費用での派遣を働きかけやすいミドル層以上の方には、本学修士課程への出願をお勧めします。

Q. 大学では新型コロナウイルス感染への対策は十分に行われていますか。

A. 文部科学省、厚生労働省の指針に基づき下記実施しております。

- ・校舎受付での検温、消毒の徹底
- ・校舎内の定期消毒、イス、ドアノブ等の定時消毒、校舎ビル設備での換気に加え、加湿器、換気装置、空気清浄機の追加配備

Q. 大学校舎でのリアル受講を考えていますが、ワクチン接種の必要はありますか。

A. 文部科学省の方針により、ワクチン接種をするかしないかの判断は最終的には個人に委ねられていますので、大学としては、義務化はしていません。

しかし、安全にプログラムを実施するために、校舎での受講を考えている方には、ワクチンの接種を推奨します。各自で自治体等で実施している接種をご利用ください。

Q. 修了証書はもらえますか。また、履歴書に書けますか。

A. 8割以上出席し、所定の課題や卒業制作を提出された方には、修了証書を発行します。履歴書等にも記載できます。就職活動、転職活動の際にご活用ください。

Q. 大学を卒業していませんが応募できますか。

A. 最終学歴に関わりなく、応募できます。ただし、応募時点で大学、専門学校、高校に在学中の方は応募不可です。

Q. 用事でどうしても出席できない日がありますが、大丈夫でしょうか。

A. 8割をリアル受講またはオンライン受講で受講出来れば大丈夫です。

Q. 受講して途中で合わないとと思ったら辞めてもいいですか。

A. 本プログラムは、国の税金で受講者のキャリア形成を支援するものです。受講される方には、その自覚をもってしっかり受講していただくことを求めます。本募集要項の内容をよく読んで応募するかどうかご判断ください。

[12] よくある質問 (FAQ) その2

Q. 選考はどのように行われますか。

A. エントリーフォームに入力いただいた内容と、個人調書・志望書をもとに選考します。応募者の意欲を重視します。

Q. フリーランス（自営業）として活動しておりますが、応募可能でしょうか。

A. 可能です。

Q. リアル受講とオンライン受講の違いはありますか。

A. 大学（事業構想大学院大学仙台校）で受講した場合は、教員に気軽に質問したり、受講生同士でコミュニケーションしやすいという利点があります。通学可能な地域にお住まいの方は、できるだけ通学をお勧めします。オンライン受講の場合も、教員へ質問したり受講生同士のコミュニケーションができるツールも用意しますので、積極的に活用してください。

Q. 仙台以外に住んでいますが、受講できますか。

A. 受講可能です。



お問合せ先

事業構想大学院大学 リカレント教育事務局

〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1

JR仙台イーストゲートビル7階

TEL : 022-257-8411 (月-土 10:00-18:00)

Email : recurrent@mpd.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

本学が取得した個人情報は、問い合わせ対応、応募、選考、プログラム運営のために必要な範囲で、事務局および担当教員が適切に管理、運用します。また、大学のイベント、行事等の案内の送付等にも使用いたします。